

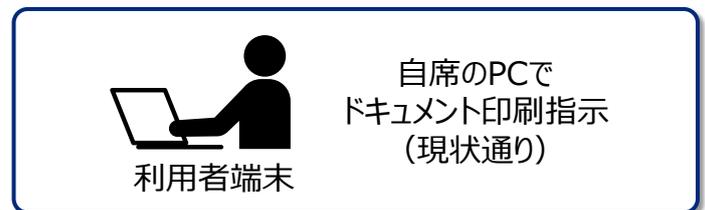
紙文書からの情報漏えい防止と
印刷コストの削減に。
内部統制やコンプライアンスの
徹底を推進する強固なセキュリティ対策。



日立製作所が開発した独自技術「指静脈認証」により、
厳格な本人認証を行うプリント環境を実現します。

情報セキュリティ対策に力を入れている企業でも、つい見落としがちなのが紙文書のセキュリティ。出力紙の放置による盗難（持ち出し）、紛失、のぞき見が多発している今、複合機やプリンターへの強固なセキュリティ対策は、内部統制やコンプライアンスの観点からも不可欠となっています。そこで日立は、既存のプリント環境に厳格な本人認証を容易にアドオンできる「指静脈認証プリントシステム」を開発。なりすましの防止による印刷物のセキュリティ強化に加え、ムダな出力を減らすための各種機能も提供し、印刷コストの削減にも大きく貢献します。

- 特長 1 なりすましを防止する
厳格な指静脈認証を採用
- 特長 2 印刷コスト削減を促進する
機能が充実
- 特長 3 プリンターベンダーを選ばない
マルチベンダー対応
- 特長 4 既存のプリンターはそのまま
導入可能
- 特長 5 出力先を選ばず
空きプリンターで出力可能
- 特長 6 誰が何をいつ印刷したかを
ログ管理



出力保留



指静脈認証プリントシステムの特長

特長 1 なりすましを防止する厳格な指静脈認証を採用

日立の「指静脈認証」は、偽造や改ざんが極めて困難です。他のセキュリティ印刷と比較して運用負担が少なく、指1本でスピーディかつ高精度に本人認証が行えます。また、1本目の指で識別できなかった場合に、異なる2本目の指を装置に挿入して2本の指を組み合わせて本人を識別する『逐次認証』を利用することで利便性が向上します。

特長 2 印刷コスト削減を促進する機能が充実

印刷指定や部数に誤りがあった場合は、本人認証実施前に利用者端末から印刷ジョブが削除できます。印刷ジョブ消し忘れによる不要な印刷を抑止するために一定時間経過後、印刷ジョブを自動削除できます。

特長 3 プリンターベンダーを選ばないマルチベンダー対応

利用者端末に導入するプリンタードライバーは一般的な設定（用紙サイズ、白黒カラー・両面印刷等）を備えており、「ベンダー固有の印刷設定」以外であれば共通して利用可能です。

特長 4 既存のプリンターはそのままで導入可能

プリンターサーバーに共有プリンターとして追加可能なプリンターであれば、メーカーや新旧などの条件を問わずに利用可能です。システム導入のために、専用プリンターの購入は必要ありません。既存資産を利用可能なため、導入費用の低減が期待できます。

特長 5 出力先を選ばず空きプリンターで出力可能

印刷利用者に待ちが発生している場合、フロア・場所を問わず、別のプリンターの設置場所へ移動して本人認証をすることで、別のプリンターからも印刷した用紙の出力が可能です。

特長 6 誰が何をいつ印刷したかをログ管理

印刷した際に、印刷者・時刻・ファイル名・サイズ等のログ情報を集約して保存します。印刷したファイルのPDFログ保存、PDFログの全文検索や、指定時間外印刷等の各種アラート機能も有しており、印刷業務全般の情報保持、運用を本システムでカバーします。

利用者の声



日立製作所公共システム事業部では、2010年から指静脈認証プリントシステムを導入しています。事業部の間接業務の負担軽減・効率化をはかり、事業方針、戦略目標の達成に貢献している公共システム事業部 公共業務サポートセンタ 部長の井口勝己にインタビューを行いました。

Q. セキュリティ面での効果を教えてください

A. 指静脈認証を行わないとプリントがされないため、以前のように印刷物がたまり、散乱してしまう状況がなくなりました。他人の印刷物に混ざって持ち去られたり、うっかり見られてしまうリスクも低減されているので、セキュリティ面で非常に高く評価しています。機密文書のプリントも安心して行えるという声も聞いています。ドキュメントのプリントに関して、毎回自分の指で本人認証を行うことで、事業部の情報セキュリティに対する意識が向上したことを感じています。

Q. コスト面での効果を教えてください

A. プrintコストの低減は、企業経営における重要な課題の一つです。システムを導入してからプリント枚数が確実に減り、大きな効果が出ています。一度プリント指示をしたものでも、ドキュメントの一部にミスがあることに気づいた時、プリント前にジョブをキャンセルできる機能が枚数削減に効果をあげています。また誰が何枚印刷したかもログに残るところは印刷を控えようとする意識付けにもつながっていると思います。さらにコスト面の効果だけでなく、紙の無駄使いを防止し、環境保全に貢献できている点も高く評価しています。

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■指静脈認証 印刷オプション

https://www.hitachi.co.jp/products/it/veinid/solution/it_security/sec_print.html

お問い合わせ

<https://www.hitachi.co.jp/veinid-inq/>